



# 平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月30日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>  
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岡谷 篤一  
 問合せ先責任者（役職名）企画本部企画部長（氏名）大塚 秀樹 (TEL) 052-204-8133  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 平成25年10月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

### (1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	357,927	0.7	6,602	6.5	7,955	8.0	4,851	4.6
25年2月期第2四半期	355,397	7.3	6,196	54.5	7,368	47.1	4,639	△4.1

（注）包括利益 26年2月期第2四半期 16,159百万円（-%） 25年2月期第2四半期 △2,240百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	100.77	100.66
25年2月期第2四半期	96.37	95.99

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	388,043	125,914	30.4
25年2月期	362,483	110,246	28.4

（参考）自己資本 26年2月期第2四半期 118,115百万円 25年2月期 103,012百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	12.00	—	13.00	25.00
26年2月期	—	12.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	750,000	8.4	14,000	22.8	15,000	11.9	9,000	3.1	186.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 一 、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	48,600,000株	25年2月期	48,600,000株
26年2月期2Q	454,866株	25年2月期	453,575株
26年2月期2Q	48,145,769株	25年2月期2Q	48,146,954株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
4. 参考資料.....	10
(1) 売上高のセグメント別内訳.....	10
(2) 設備投資額並びに減価償却費.....	10
(3) 人員の推移.....	10
(4) その他補足資料.....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済の回復傾向の中、ASEAN経済も底堅さを維持しており、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。日本経済は、政府の経済政策、及び日銀の金融緩和により景況感が回復し、その効果も徐々に現れてきました。

このような状況下にあつて、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,579億27百万円で、前年同期比0.7%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が238億78百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益が66億2百万円（前年同期比6.5%増）、経常利益が79億55百万円（前年同期比8.0%増）となりました。また、当四半期純利益は48億51百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

これを事業の種類別に見ますと、次のとおりであります。

#### (鉄鋼)

製造業関連では、自動車向けは堅調に推移したものの、建設機械・産業機械向けは伸び悩みました。

土木・建築・内需関連は回復の兆しは見られるものの、全体としては引き続き伸び悩みました。輸出は東南アジア、中国、台湾向けが順調に推移しました。

鉄鋼部門全体では、売上高は1,492億66百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

#### (情報・電機)

非鉄金属分野では、海外向け電子部材が好調に推移しましたが、原材料は需要低迷により減少しました。

エレクトロニクス分野では、電子部品及び半導体は堅調でしたが、自動車向けは価格下落により売上が減少しました。

情報・電機部門全体では、売上高は746億60百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

#### (産業資材)

メカトロ分野、化成品分野ともに、国内外で堅調な生産を続ける自動車向けに部品・工具、樹脂原料が順調に推移しました。またメカトロ分野では引き続き海外向けを中心に設備機械も順調でした。

産業資材部門全体では、売上高は1,040億95百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

(生活産業)

配管住設分野ではユーザー向けは堅調でしたが、全般的に低調でした。建設分野では分譲マンション、建築工事案件ともに減少しました。食品分野では加工食品の輸入が増加しました。

生活産業部門全体では、売上高は299億6百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,880億43百万円となり、主に期末日休日の影響に伴う売上債権の増加により前連結会計年度末に比べて255億59百万円増加しました。

負債は2,621億29百万円となり、主に期末日休日の影響に伴う仕入債務の増加により前連結会計年度末に比べて98億91百万円増加しました。

純資産は1,259億14百万円となり、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べて156億67百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成25年3月29日発表の予想数値を据置いております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,628	12,035
受取手形及び売掛金	159,627	174,980
商品及び製品	36,881	35,752
仕掛品	614	377
原材料及び貯蔵品	1,762	1,686
その他	11,662	7,669
貸倒引当金	△432	△499
流動資産合計	220,745	232,002
固定資産		
有形固定資産	40,252	40,683
無形固定資産	976	841
投資その他の資産		
投資有価証券	86,594	100,465
その他	14,328	14,595
貸倒引当金	△413	△544
投資その他の資産合計	100,509	114,515
固定資産合計	141,738	156,041
資産合計	362,483	388,043

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,531	109,402
短期借入金	102,341	99,282
未払法人税等	2,390	2,102
賞与引当金	784	949
その他	10,735	6,361
流動負債合計	209,784	218,097
固定負債		
長期借入金	17,018	13,831
繰延税金負債	19,620	24,420
退職給付引当金	1,961	1,934
役員退職慰労引当金	644	621
その他	3,209	3,223
固定負債合計	42,453	44,031
負債合計	252,237	262,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	60,036	64,261
自己株式	△446	△448
株主資本合計	76,516	80,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,756	38,169
繰延ヘッジ損益	△1	41
為替換算調整勘定	△3,258	△834
その他の包括利益累計額合計	26,496	37,375
少数株主持分	7,233	7,798
純資産合計	110,246	125,914
負債純資産合計	362,483	388,043



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	355,397	357,927
売上原価	332,328	334,049
売上総利益	23,069	23,878
販売費及び一般管理費	16,872	17,275
営業利益	6,196	6,602
営業外収益		
受取利息	692	614
受取配当金	772	942
持分法による投資利益	444	565
その他	294	391
営業外収益合計	2,203	2,513
営業外費用		
支払利息	918	828
手形売却損	23	21
その他	90	310
営業外費用合計	1,032	1,160
経常利益	7,368	7,955
特別利益		
固定資産売却益	4	11
投資有価証券売却益	12	11
その他	2	—
特別利益合計	19	22
特別損失		
固定資産処分損	9	2
減損損失	115	—
投資有価証券評価損	90	0
持分変動損失	10	168
その他	0	1
特別損失合計	226	172
税金等調整前四半期純利益	7,160	7,805
法人税、住民税及び事業税	2,329	2,641
法人税等調整額	△44	42
法人税等合計	2,285	2,684
少数株主損益調整前四半期純利益	4,875	5,120
少数株主利益	235	269
四半期純利益	4,639	4,851

四半期連結包括利益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,875	5,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,338	8,435
繰延ヘッジ損益	△27	42
為替換算調整勘定	193	1,994
持分法適用会社に対する持分相当額	56	566
その他の包括利益合計	△7,116	11,038
四半期包括利益	△2,240	16,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,473	15,730
少数株主に係る四半期包括利益	232	429

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	148,247	75,391	101,550	30,208	355,397	—	355,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	568	667	194	734	2,164	△2,164	—
計	148,815	76,058	101,745	30,942	357,562	△2,164	355,397
セグメント利益	1,931	1,281	2,734	671	6,618	△422	6,196

(注) 1. セグメント利益の調整額△422百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	149,266	74,660	104,095	29,906	357,927	—	357,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	556	743	384	718	2,402	△2,402	—
計	149,822	75,403	104,479	30,624	360,330	△2,402	357,927
セグメント利益	2,183	1,548	2,273	714	6,719	△116	6,602

(注) 1. セグメント利益の調整額△116百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 参考資料

平成25年9月30日

平成26年2月期 第2四半期決算関係参考資料

岡谷鋼機株式会社

(1) 売上高のセグメント別内訳 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績			前第2四半期累計実績		通期予想		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	金額	構成比	増減率
		%	%		%		%	%
鉄 鋼	149,266	41.7	0.7	148,247	41.7	318,000	42.4	11.2
情報・電機	74,660	20.9	△1.0	75,391	21.2	153,000	20.4	4.2
産業資材	104,095	29.1	2.5	101,550	28.6	215,000	28.7	9.1
生活産業	29,906	8.3	△1.0	30,208	8.5	64,000	8.5	2.9
合 計	357,927	100.0	0.7	355,397	100.0	750,000	100.0	8.4

(2) 取引形態別売上高内訳

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

取引形態	当第2四半期累計実績		前第2四半期累計実績		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内取引	247,207	69.1%	259,379	73.0%	△ 12,172	△4.7%
海外取引	110,720	30.9%	96,018	27.0%	14,702	15.3%
合 計	357,927	100.0%	355,397	100.0%	2,530	0.7%

(3) 設備投資額並びに減価償却費 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績		通期予想	
設備投資額	1,669		2,900	
減価償却費	1,800		3,800	
〈主な内容〉	基幹システムBCP対応	194	基幹システムBCP対応	194
	工場増設(タイ)	598	工場増設(タイ)	850
	工場設備増設(ポーランド)	139	工場設備増設(ポーランド)	139
			工場設備増設(中国)	200
	樹脂成型用金型	363	樹脂成型用金型	700

(4) 人員の推移

【連結】

(単位：千円、単位未満切捨て)

年 度	期 末 人 員	従業員一人当たり 売 上 高	従業員一人当たり 当 期 利 益
平成24年2月期	4,663	145,837	1,819
平成25年2月期	4,800	144,186	1,819
平成25年2月期第2四半期	4,689	75,793	989
平成26年2月期第2四半期	4,748	75,384	1,021

【個別】

年 度	期 末 人 員	従業員一人当たり 売 上 高	従業員一人当たり 当 期 利 益
平成24年2月期	660	805,950	10,487
平成25年2月期	661	784,498	9,267
平成25年2月期第2四半期	680	406,424	4,943
平成26年2月期第2四半期	707	373,932	5,877

## (4) その他補足資料

## ◇◇◇当社株主優待のお知らせ◇◇◇

当第2四半期(2013年8月期)株主優待として、8月末所有株式数1,000株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。発送は10月末から11月初旬の予定です。

来年2月末所有株式数500株以上の株主様へは、4月下旬に《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

## ◇◇◇当第2四半期累計期間のトピックス◇◇◇

当第2四半期累計期間に、新たに展開した事業及び主な出来事をご紹介します。

( )内は公表年月

## ◎上海岡谷鋼機有限公司 蘇州事務所開設について(2013年3月)

当社子会社の上海岡谷鋼機有限公司は、製造業が集積している蘇州地区において、メカトロ関連商品・鉄鋼等素材系商品などに関する情報収集活動を行なうため、蘇州事務所を開設しました。

## ◎チャリティーコンサート開催について(2013年3月、7月)

当社は、社会貢献活動の一環として、6月28日(金)、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて「OKAYA CHARITY CONCERT 2013 ～感謝の夕べ～」を開催しました。

多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金と、当社からのマッチングギフト、また、ご来場くださいました皆様からお預かりしました募金額を合わせ、合計370万円を超える金額を、社会福祉法人愛知県共同募金会に募金しました。

## ◎鉄鋼販売子会社2社の合併について(2013年3月)

当社子会社の岡谷薄板販売(株)は、9月1日にミワ鋼材(株)を吸収合併しました。経営資源の有効活用により、経営基盤の充実ならびに小口販売の営業力強化を図ります。

## ◎インドネシア岡谷鋼機会社 デルタマス事務所開設について(2013年3月)

当社子会社のインドネシア岡谷鋼機会社は、西ジャワ州ブカシ地区においてユーザーに密着した営業活動を行なうため、デルタマス事務所を開設しました。

## ◎中国四川地震被害への義援金寄付(2013年5月)

当社は、4月20日に中国四川省で発生した地震による被災者の方々に対し、中国で事業を行う子会社8社と共に義援金を寄付しました。

## ◎米国オクラホマ州竜巻被害への義援金寄付(2013年6月)

当社子会社の米国岡谷鋼機会社は、5月20日に米国オクラホマ州で発生した竜巻による被災者の方々に対し、義援金を寄付しました。

## ◎子会社の株式譲渡契約締結について(2013年6月)

当社子会社の岡谷マート(株)は、その子会社であるヤナギ管材(株)の株式を、渡辺パイプ(株)に譲渡することで合意し、7月に譲渡しました。

## ◎ベトナム岡谷鋼機会社 ハノイ事務所開設について(2013年8月)

当社子会社のベトナム岡谷鋼機会社は、ハノイ市においてユーザーに密着した営業活動を行なうため、ハノイ事務所を開設しました。

以上